

# 職務経歴書

2026年1月16日

山内 雄司

## 1. 職歴

1996年4月～1996年10月

株式会社サンマルク（外食産業、ベーカリー部門 FC 指導員）

1996年10月～2000年3月

齊藤博文税理士事務所（税務会計、法人監査・決算確定申告業務担当）

2000年5月～2003年4月

株式会社日本デジタルコミュニケーションズ（通信販売、ドコモショップ副店長）

2003年10月～2006年7月

株式会社井原放送（CATV事業、総務部係長、ISO27001構築担当）

2006年8月～2012年夏

株式会社アーツ情報システム 代表取締役（IT企業、システム開発・保守）

主要実績：総務省事業受託（約1.2億円）、倉敷市ITライフサイクル管理システム開発、ISO27001/ISO20000構築、年商1.4億円規模への成長

2012年冬～2015年

NPO法人はれの国 設立支援（障害福祉、就労継続支援B型事業所立ち上げ）

就労継続支援B型ひだまり（愛媛県今治市）設立支援

2013年～2015年

NPO法人チャレンジド尾道 事務局長（障害福祉事業、就労支援事業所運営）

5事業所（就労継続支援B型4、多機能型1）立ち上げ、利用者約100名・スタッフ約35名の管理

2016年～2021年5月

一般社団法人アンマー 事務局長（障害福祉事業、就労支援事業所運営）

就労継続支援B型シェル開所支援（後に多機能型へ変更）

井笠地域自立支援協議会 就労部会部長就任

岡山県セルフセンター 副所長・営業責任者就任

社会福祉法人（職員400名・年商40億円）DX推進事業受託

就労移行支援ACT01（神奈川県川崎市）開所支援

2021年7月～2023年11月

合同会社DUG研究所 代表社員（障害福祉事業）

就労移行支援コーリングサポ笠岡 開所・運営（管理者兼サービス管理責任者）

2023年9月 脳出血により入院、同年11月 事業所閉所

2024年5月～2024年12月

一般社団法人クロスファーム（障害福祉事業、就労継続支援A型→B型）

管理者兼サービス管理責任者、A型からB型への事業転換対応

## 2. 社会における活動

2016年～2021年

井笠地域自立支援協議会 就労部会部長

2018年～2021年

岡山県セルフセンター 副所長・優先調達受注推進担当

2019年～2021年

岡山県農福連携サポーター

2023年11月～2024年

ピアサポート組織「Rel（レル）」設立・運営（就労移行支援利用者の継続支援）

## 3. 著作・論文等

1. ①「教育機関におけるクラウドコンピューティングの活用」

②共著（小松原実教授との共同研究）③2010年頃④岡山商科大学『商大レビュー』Vol.19 産学官連携センター共同研究

2. ①「令和3年度 情報通信技術人材育成活用事業 成果報告書」

②主著（事務局担当として作成）③2011年3月④総務省提出（くらしき観光情報プラットフォーム事業）

3. ①「地域ICT利活用広域連携事業 成果報告書」

②主著（事務局担当として作成）③2011年3月④総務省提出（クラウド基盤上の視覚・聴覚障害者参加型バリアフリー行政サービスシステム構築事業）

## 4. 資格等

| 資格名             | 取得年月    | 授与権者     |
|-----------------|---------|----------|
| 学士（商学）          | 1996年3月 | 岡山商科大学   |
| 普通自動車第一種運転免許    | 1993年   | 岡山県公安委員会 |
| サービス管理責任者実践研修修了 | 2024年7月 | 岡山県      |

## 5. 受賞・表彰

該当なし

### 【参考】研究遂行に関連する能力・経験

#### ■ 福祉分野（10年以上）

- ・新規事業所立ち上げ：10事業所（就労継続支援B型6、就労移行支援2、多機能型2）
- ・管理運営：最大5事業所、職員約35名、利用者約100名

- ・支援データ蓄積：NOCCによる自尊感情測定（10年分）、音声記録（5年分）
- ・重度ケース対応：傷害致死事件関係者支援、意思決定支援等の実績

## ■ IT・システム分野

- ・ISO27001/ISO20000構築・取得経験（3法人）
- ・総務省事業（約1.2億円）の企画・運営・報告書作成
- ・LLM（大規模言語モデル）活用による研究プロセス構築
- ・データ構造化（YAML/Markdown形式による支援記録整理）

## ■ 会計・監査分野

- ・税理士事務所での法人監査・決算業務経験（約4年）
- ・複式簿記の思考様式を福祉研究に応用（「累積環境因子」概念の着想源）

以上